

お散歩が大好きだワン!



▶しついで大切なことは
特5ページをチェック!

ぼくも地域の一員
なのニャ?



▶ペットも地域の一員?
特4ページをチェック!

特集

人もペットも笑顔で 暮らせるまちへ

地域みんなと
仲良くしたいニャン



▶地域で猫を見守る地域猫活動は
特6ページをチェック!

災害への備えは
バッチリかワン?



▶同行避難などペット防災は
特7ページをチェック!

2026.03.28-29

みんなで作るペットシティ

ハウスティアフェス2026!!

3月28日・29日、久喜市コミュニティ広場でハウスティアフェス2026が開催されました。

このイベントは「みんなで作るペットシティ」をテーマに、大切な家族やパートナーが安心して暮らせる未来を創りたいという想いから始まり、今回で5回目の開催となりました。

ペットと一緒に体験して防災知識を学べたり、ドッグダンスショーやワンワンカーパレードなどを実施。また、キッチンカーの出店など、盛りだくさんの内容で、多くのワンちゃんやペット好きな方のほか、地域の方も多く来場し、活気にあふれる2日間となりました。

次回の市内での開催は
令和9年
3月下旬
を予定!



特集

人もペットも笑顔で暮らせるまちへ

FAV Reactive(株)との連携協定を締結

3月29日、ハウスティアフェスのイベント内で、協定式を執り行い、FAV Reactive(株)と連携協定を締結しました。

これにより、人とペットとの調和のとれた共生社会の実現に向けて、幅広い分野の取り組みを緊密に連携・協力することで、地域の活性化および住民福祉の向上を推進していきます。

皆さんはペットを飼っていますか？
イヌやネコ、ウサギにハムスターなど、
大きささまざまなペットたちが見せる愛
くるしい姿や無邪気な仕草。ペットは
私たちの日常に癒やしと喜びをもたら
してくれます。
一方で、ペットの飼育やしつけの状
況によっては、近隣の人に迷惑や不安
を与えてしまうことがあります。癒や
しを与えてくれるはずのペットが原因
で、地域でのトラブルになってしまう
ことも。
同じ地域の一員として、みんなが安
心して暮らすためには、どのようなこ
とに注意すれば良いのでしょうか。
今月の特集では、ペットとの共生に
ついて取り上げます。人もペットも心
地よく暮らすために、私たちにできる
ことを、一緒に考えてみませんか。





しつけを堅苦しく考えず、 楽しく、楽に、一緒に生活する

この訓練所では、主にワンちゃんとの生活をサポートしています。しつけ教室や預かりなどで、ワンちゃんとの時間がより楽しくなるためのお手伝いをしています。飼い主さんからの相談は、お散歩でひっぱりまわしたり、トイレができない、人に吠えるといったものがあります。飼い主からすると、原因が分らず「どうしてそ

しつけに悩む飼い主が増えている

訓練士として40年以上にわたり、多くのワンちゃんと飼い主に向き合い、見守ってきた小佐野さん。これまでの経験から、ペットとの接し方や、しつける上で大切なことを伺いました。

まずは飼い主さんの気持ちを伝えましょう。大事なものは、褒めること。「すごいーやったねー」と飼い主さんが一緒に喜んであげて、ワンちゃんに「褒められた」と分かってもらう。褒められることが嬉しくワンちゃんが感じて、楽しく覚えられるようにしてあげることが必要なことです。ワンちゃんの気持ちだけを聞いていたら、上手くいませません。まずは自分を分か

うなっちゃうんだろう」と悩んでしまふ。自分でどうにかしようと思いが集められますが、自分の子に当てはまらないことで、余計に混乱してしまふ飼い主さんが多いです。問題行動が出たり、しつけで困ったり、**すぐに相談する**のが良いですね。そのほうが飼い主さんも苦労しないと思います。

まずは一緒に喜んで褒めてあげる

しつけは子犬の時から、迎えたときから始めるのが一番良いですね。最初に社会に順応するよううにしてあげることが大事です。飼い主や他人、他の犬などとの関わりあいを理解させる。それには、ワンちゃんとの交流やコミュニケーションが必要になります。

しつけを堅苦しく考えない

単に「しつけ」と言っても漠然としてますよね。トイレができる、知らない人に向かっついていけない、噛まない。そういった**日常生活で必要なこと**がしつけなんです。生活する上で、他人に迷惑をかける程度のこと教えてあげられていれば良いと思います。堅苦しく考える必要はなく、教えるにしてもまずは楽しく！人もワンちゃんも、やっぱり楽しくなかつたら身につかないですね。

ワンちゃんとの生活で大事なことは、**楽しく、楽に、一緒に生活**すること。犬は癒しの存在ですから。癒やされながら、肩の力を抜いて、共に楽しく過ごすことが一番だと思います。



ペットも地域の一員として 暮らすために必要なこと

何気ない行動が地域の困りごと

市には、ペットに関するさまざまな相談が寄せられています。その原因の多くは、飼い主の何気ない行動。気にも留めていなかった行動が、周囲の人にとって困りごとになってしまっていることも。皆さんは、マナーを守った飼育ができていますか？

飼い主に求められる周囲への配慮

ペットへの感じ方は人それぞれです。動物が好きで、散歩中に犬や猫を見かけると自然と笑顔になる人もいれば、過去に怖い思いを

ペットに対する感じ方

飛びつかれたことがあってから近づかれるとこわい

見ているだけで癒やされるいやしの存在

アレルギーがあるから近づけない

うちの子もよその子も全部かわいい

ネコは好きだけど野良猫に花壇を荒らされるのは困る

した経験から苦手意識を持つている人もいます。小さな子どもや高齢者の中には、急に近づかれることに不安を感じる人も。さらに、動物アレルギーがある人にとつては、身近にペットがいることで、体調への影響を不安に思ってしまうかもしれません。大切なのは、「自分にとつての当たり前」が他の人にとつても当たり前前ではないと理解することで。ペットも地域で暮らす大切な一員。だからこそ、共に安心して暮らしていくためには、**飼い主の責任ある行動**が欠かせません。日頃から適切なしつけを行い、鳴き声や飛びつきなどへの対策を心掛けることが、周囲への配慮につながります。

日常の思いやりで心地よいまちへ



人もペットも心地よく暮らせるまちにしていくためには、相手の立場を想像して行動するなど、日常の中のちょっとした思いやりが大切です。地域の一人ひとりが、周囲への気配りやマナーを意識していきましょう。

飼い主の心構え

- いろんな感じ方があることを知る
- 相手の立場を想像する
- 周囲への思いやりを持つ

正しい知識を身につけ、周りへの配慮を

市に寄せられる相談として、犬のふん尿放置のほか、野良猫への餌付け、それに伴うふん尿に関するものが多いです。ペットを飼い始めるときに、正しい知識がないことで、誤った飼育やしつけをしてしまい、その結果、地域でのトラブルに発展してしまふ。癒やしてくれる存在はすなのにも、その子のせいでトラブルになるのは、飼い主さんにとつても辛いことだと思います。ふんを持ち帰る、ストレスを与えないなど、まずは正しい知識を身につけることが大切です。動物指導センターや動物病院などに相談するほか、市では毎年犬のしつけ方教室も開催しています。他の人の迷惑にならないように、周りへの配慮も気にしつつ、かわいいペットを大切に育ててもらいたいです。

環境課
環境保全・衛生係
原口主任



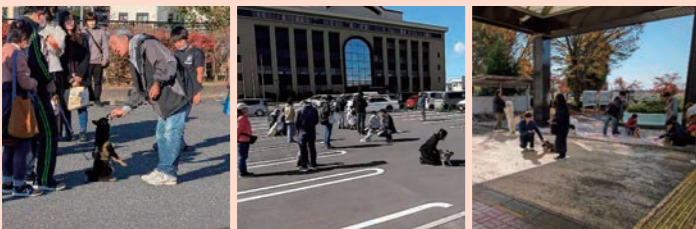
市で実施している取り組み

- ふん尿放置の注意看板を無料配布
- 犬のしつけ方教室の開催
- 地域猫の不妊・去勢手術の助成
- 環境保全巡視員によるふん尿放置の確認 (対象地区のみ) など



ペットに関する近隣での困りごとがあれば、環境課へご相談ください。

問 環境課環境保全・衛生係 (☎内線369)



▲市主催の犬のしつけ方教室では、30年以上小佐野さんに講師を務めていただいています。これまで、多くの方が愛犬とともに参加し、ワンちゃんと楽しみながら、しつけについて学びました。犬のしつけ方教室は毎年各地区で開催しています。次回の実施日など、詳細は広報くき10月号でお知らせ予定です。



しっかりと準備しておくニャ!

もしものときに備えよう ペット防災

災害時にペットを守るのは飼い主の務めです。自身の安全を確保しつつ、ペットの健康と安全を守るための準備や心構えを持ちましょう。

避難所への同行避難

災害時、避難所にペットと一緒に避難することができます。ただし、アレルギーなどさまざまな理由から、ペットと人は別々の場所で過ごすことになります。※盲導犬等を除く
避難所にはペットの災害用備蓄品はありません。いざという時にすぐ持ち出せるように、備蓄品リストを確認し、準備しておきましょう。
また、避難所によってはペットの受け入れに対応していないこともあります。同伴避難が難しい事態も考え、万一の預かり先を確保しておくことも大切です。※同行避難…避難所まで一緒に避難すること
同伴避難…避難所で一緒に生活すること

市ホームページでは、指定避難所におけるペットの一時飼育場所を公開しています。受け入れができる近くの避難所はどこか、避難所の飼育場所はどこかなどを確認しておきましょう。
同伴避難できる避難所一覧▶

—— 避難所での過ごし方 ——
避難所では、ペットと同伴避難した飼い主の皆さんで「**飼い主の会** (仮称)」を立ち上げます。避難所内の一時飼育場所でのエサやりやふん尿の処理、清掃などを分担しながら、協力してペットのお世話をします。

- ### ペットのための備蓄品リスト
- 療法食、常備薬
 - 食器
 - えさと飲み物 (推奨7日以上)
 - キャリーバッグやケージ
 - 予備の首輪、リード (伸びないもの)
 - 飼い主の連絡先やペットの情報を記録したもの
 - ペットシート
 - トイレ用品
 - 好きなおもちゃ
 - ブラシ
 - 匂いのついたタオル
 - ガムテープ

災害の種類によっては、「在宅避難」や「分散避難」が最良の手段となる場合もあります。避難所に頼らない避難方法も考えておきましょう。

ペット防災にも活躍! 久喜市防災アプリ

久喜市防災アプリでは、リアルタイムで避難所の開設状況やペットの受け入れができるかどうかをアプリ上で確認できます。
そのほかの便利な機能など、詳細は市ホームページをご覧ください。

ペット・動物に関する相談先

- ・ペットがいなくなったとき…①②④⑤
- ・迷子の動物を保護したとき…①②④⑤
- ・飼うことが難しくなったとき…①(犬) ②(猫)
※ご自身で新しい飼い主を見つけることが原則です。
- ・地域でのふん尿などで困ったとき…③

	名称	電話番号
①	幸手保健所	☎ 42-1101
②	埼玉県動物指導センター南支所	☎ 048-855-0484
③	久喜市環境課環境保全・衛生係	☎ 22-1111 (☎内線369)
④	久喜警察署(栗橋地区以外)	☎ 24-0110
⑤	幸手警察署(栗橋地区)	☎ 42-0110

野生動物の死骸の回収については市ホームページをご覧ください▶

ペット全般

- 愛情と責任をもって育てる
健康管理に注意しつつ、たっぷり愛情を与えながら、責任もって飼いましょう。
- 基本的なしつけをしておく
待て、お座り、排せつなど基本的なしつけを身に付け、不用意に人に吠えないようにするほか、キャリーバッグやケージに慣らしておきましょう。
- 身元の表示をする
ペットとはぐれても飼い主の元に戻れるよう、首輪や迷子札、マイクロチップなどを付けましょう。
- 万一の事態に備える
飼い主の入院など、一時的に面倒が見れない時や災害の際にペットの預かり先を確保しておきましょう。

ワンちゃん

- 市役所へ飼い犬の登録をする
飼い始めた日から30日以内に登録しましょう。引っ越した場合も変更の届け出が必要です。
- 狂犬病の予防注射を受ける
法律で年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。注射済票の着用も忘れずに。
- ふんは必ず持ち帰る
ふんは袋に入れて持ち帰り、おしっこもペットボトル等に入れた水で洗い流しましょう。
- リードをつけて散歩する
必ずリードをつなぎ、短めに持ちましょう。公園や路上での放し飼いは県の条例で禁止されています。



地域で猫を見守る 地域猫活動

飼い主のマナーとルール

ペットを飼うことは、小さな命を守る責任を持つことです。同時に、地域の一員として周囲へ配慮する責任もあります。それには飼い主として、ペットをしつけておくことが大切です。この機会にマナーやルールが守れているか、見直してみませんか。

ちゃんとできてる?!

ネコちゃん

- 室内飼育をする
ご近所とのトラブルや迷子を防止できたり、ネコ自身を事故や感染症から守ることができます。
- 不妊・去勢手術を検討する
望まない妊娠を防ぐほか、病気リスクやストレスの軽減にもつながります。

勝手に野良猫へエサをあげていませんか?

無責任な野良猫へのエサやりを続けると…

- ・ふん尿の放置による地域の環境悪化
- ・事故や病気等による子ネコの死
- ・自然繁殖による野良猫の増加

野良猫への身勝手なエサやりを行うことで、猫が集まり、その地域へ非常に大きな影響を与えることになってしまいます。
猫を思う気持ちは大切ですが、「かわいそうだから」とエサを与えるだけでは、さらに不幸なネコを増やしてしまうことにつながってしまいます。

地域猫活動

地域猫活動とは、飼い主のいない猫を地域の問題としてとらえ、地域住民の理解と協力のもとで見守っていく活動です。
具体的には、不妊・去勢手術を行い、適切なエサやりやふん尿の管理をしながら、猫の数を増やさないようにすることで、将来的に**飼い主のいない猫を減らしていく**ことを目指しています。
猫を地域で大切にしながらも、周辺的生活環境への配慮を欠かさないことが大きな特徴です。活動には、猫好きの人だけでなく、苦手な人や関心のない人も含めた**地域全体の理解**が欠かせません。